

総研大ニュースレター

第7号 2008.12 発行

●目次

- 【今月のトピック】**「総研大天文科学専攻 家正則教授、
2008年度の仁科記念賞受賞 天文科学専攻」
「サイエンスカフェを開催しました 総務課広報係」
「総研大レクチャー：2008年度『科学映像の制作理論と制作』
比較文化学専攻」
「第11回先導科学研究科学術講演会を開催しました
生命共生体進化学専攻」
「Scilab Toolbox Contest JAPAN 2008 情報学専攻」
「中学生が葉山キャンパスで職業体験 総務課広報係」

【各種募集】

【イベント情報】

【編集後記】

【今月のトピック】

「総研大天文科学専攻 家正則教授、2008年度の仁科記念賞受賞」



物理学の優れた業績をたたえる今年度の仁科記念賞を、自然科学研究機構国立天文台（台長：観山正見）の家正則（いえまさのり）教授が受賞しました。

仁科記念賞は、故仁科芳雄（にしなよしお）博士の功績を記念し、物理学とその応用に関し優れた研究業績をあげた研究者に授与されます。

家氏が率いる研究グループは、現在知られている最遠方銀河 10 個のうち 9 個をすばる望遠鏡を用いた観測で発見しています。さらに、自ら設計・製作した狭帯域フィルターを用いて、約 129 億光年かなたにある最遠の銀河を発見するという成果（国立天文台 アストロ・トピックス (242) 参照）と、すばる望遠鏡の建設やその後の開発研究の寄与が、今回の受賞理由となりました。

ビッグバンで始まった宇宙は、その後の膨張過程においてさまざまな進化をたどっています。家氏は、すばる望遠鏡の研究グループの中心となって、宇宙を構成する主成分である銀河がいつ誕生し、どのように宇宙環境に影響したか、などの研究を進めています。また、すばる望遠鏡の解像力を格段に改善するレーザーガイド補償光学装置の開発を進めながら、米国・カナダとの国際協力で次世代の超大型光赤外線望遠鏡を実現すべく、日本のリーダーとして精力的に取り組んでいます。

今回の受賞について、家氏は、「すばる望遠鏡による初期宇宙の探査研究については、柏川さん、嶋作さん、太田さん、大内さんなど（注）、多くの有能な若手の皆さんとの共同研究の成果ですので、単名での受賞は恐縮至極です。しかし、今回の受賞が、すばる望遠鏡や超大型光赤外線望遠鏡計画を含め、国立天文台の今後に多少なりとも追い風になることを期待いたします」と話しています。

この授賞式は、12月5日に東京會館（東京都千代田区）にて行われる予定です。

注：研究メンバー

柏川伸成（かしかわのぶなり）：国立天文台・准教授

嶋作一大（しまさくかずひろ）：東京大学・准教授

太田一陽（おおかずあき）：理化学研究所・基礎科学特別研究員

大内正己（おおうちまさみ）：カーネギー天文台・カーネギーフェロー

ほか

【国立天文台「アストロ・トピックス」より引用】

「サイエンスカフェを開催しました」



古代のロマンを語る及川教授

去る11月7日（金）、葉山町内のレストラン「夕風亭」を会場にサイエンスカフェを開催しました。

本学の教員が地域の方にわかりやすい言葉でお茶を飲みながら研究を発表する場となっており、固定ファンもできたようで小学生から70代まで幅広い年代の方々の参加がありました。今回は、本学の学長補佐で図書館長でもある及川昭文教授を迎え、「地下に真実、地にロマン」と題して、考古学の成り立ち、資料の扱い方、コンピュータを使用した考古学の手法などについて紹介していただきました。

『アルタミラの洞窟の壁画』という話題から始まり、考古学の調査方法や、統計の手法を用いた遺跡の分布予想図、『私が推理する邪馬台国の場所』など様々なエピソードを混ぜながら語る講師の話に、参加者は静かに聴き入っていました。参加者も今回のテーマに興味を持ってきた方が多く、アンケート結果にも大半の方から「満足した」との回答がありました。

話題提供の後には、フリートーキングを行い、なごやかな雰囲気により終了しました。

次回のサイエンスカフェは、来年1月に葉山キャンパスにおいて開催する予定です。

【文責：総務課広報係】

「総研大レクチャー：2008年度『科学映像の制作理論と制作』」

日時：2008年9月1日－9月6日

場所：長野市飯綱高原にて開催

このレクチャーでは、昨年度と同様に長野市飯綱高原の「ロッジ・ピノキオ」を基地として、6日間にわたり、科学映像の制作理論などの講義、および、撮影から編集・映像作品完成までが実施されました。参加者は、総研大の講師4名、外部講師4名、および総研大院生や外部からの聴講生14名、その他の参加者も含めて計25名でした。今回のレクチャーでは、講義と映像制作の二つの部分が織り交ぜられて進行しました。

講義では、映像民族学の大森康宏先生による映像制作理論を中心に、平田光司総研大学長補佐による科学と社会に関する問題、国立遺伝学研究所の池尾一穂先生による科学映像と図形言語化された説明モデルとの対比に関する問題、その他にも、映像を撮る側と見る側の相互理解とやらせの問題や、撮影・編集に関わる技術的・社会的環境に関する問題などが解説され、それに基づ



緑に囲まれたロッジ・ピノキオ



平田光司先生の「科学と社会」に関する講義

く議論が行われました。映像制作の部分では、飯綱高原在住の美術工芸家や研究者にインタビューし、自分の作りたい映像の骨子を固めてからあらためて撮影に臨む、という民族誌映像制作の基本を踏まえながら撮影した映像を、参加者全員に披露し議論しながら編集作業を行い、最終的には5分間の映像作品にまとめる、という流れで進められました。



撮影前のインタビュー

ことにより、対象者のどの面に迫ろうとするのか、それをどのように表現するのか、という点で、撮影する側の文化的背景や関心の差異を際立たせるという、興味深い結果が得られました。

編集作業は、それぞれが撮影した映像を互いに批評しながら進められたために、連日、明け方4時頃までかかるというハードなものでした。しかしその作業の中から、映像を編集・制作することとは、見る者に何を訴えたいのか、そのために最も効果的な技法は何かを考える創造作業であるにとどまらず、今回のように対象が人である場合には、その人の歴史や人生観をも浮かび上がらせ、またそれと同時に、撮る側が対象者に向ける眼差しも映し出し、ある意味では、映像制作者の内面を隠さずもえぐり出す、あるいは自らを表現する過程でもあることが実感できるものでした。

9月5日の夜に開かれた完成作品の上映会には、総研大の野村雅一理事・副学長も参加したほか、幾人かのインタビュー対象者や近隣の住人の方々も参加しました。

すなわち、この上映会は、撮る側、撮られる側、見る側の三者が一同に会する機会となり、映像の持つ意味をあらためて皆で議論する場となったわけです。映像を制作するうえで、この三者が場を共有することの重要性があらためて明らかになり、まことに意義深いものだったと思いま

インタビューの対象者としてお願いしたのは、木工制作者、バレー衣装制作者、トールペイント制作者、カッティングアート制作者、長野県環境保全研究所の生態研究者、気象研究者など7名の方々でしたが、参加者が多いので、同じ方に対して複数人がインタビュー、撮影することになりました。この方式をとる



事前のインタビューを踏まえて撮影する



延々と続く編集作業



編集作業は連日深夜におよぶ

す。参加者である総研大院生の専門分野も、文系から理系まで巾が広く、専門分野といういわば異文化を相互に理解する刺激的な場面にもなったことは、総研大事業の趣旨にも大いにかなうものでしょう。

こうした、三者が一同に会して議論する場の作り出されることが、本レクチャーの真骨頂だと思われる。私自身も、講師であると同時に映像制作の生徒の立場で参加したのですが、教える側、学ぶ側という関係を超え、お互いが学び合う場となったことも、特筆に値する点です。ハードなスケジュールをこなす中から、上記の様々な意義を体得した参加者の全員が、解散時に、「得るものの大きいすばらしい機会だった」と異口同音に語ったことを見ても、今後もこうした形式で本レクチャーが継続されることが望ましいと強く思うところです。



インタビューされた方々や野村雅一理事・副学長も参加した作品上映会

【文責：比較文化学専攻 教授 久保正敏】

「第11回先導科学研究科学術講演会を開催しました」

先導科学研究科では、地域社会との交流を深めるとともに、科学の新しい流れを創造する「光・生命・進化」に関連した研究の最前線を広く一般の方々に伝え、理解していただくことを目的として、去る11月3日（祝）に学術講演会「光・生命・進化」シリーズを開催しました。

当日は、地域住民を中心に約100名の参加者があり渡邊正勝先導科学研究科長の挨拶に引き続き、同研究科沓掛展之助教による講演「動物の行動生態をフィールドワークで探る—ソロモンの



沓掛助教の講演



印南准教授の講演

指輪をつけると見えてくる世界」を参加者は熱心に聴き入っていました。特に、「自然科学的なアプローチによって、動物の行動や生態をよりよく理解できる」ということを、ご自身のフィールドワーク研究から説明し、参加者は一同に納得がいった様子でした。

次に、同研究科印南秀樹准教授による講演「生物が少しずつ進化する仕組みー進化の偶然と必然を賭博の理論で考えるー」では、博打という身近な話題から大変難解な分野である理論集団遺伝学を紹介できるとの説明があり、実際に賭博での確率論から進化の偶然と必然を説明すると参加者は驚いていました。

講師の話が終了後も興味を持った参加者から質問が相次ぎ、予定時間は超過しましたが、参加者は皆今回の講演に大変満足のいった様子でした。

【文責：葉山共通事務室】

「Scilab Toolbox Contest JAPAN 2008」

11月10日、国立情報学研究所において、Scilab Toolbox Contest JAPAN 2008 が行われました。Scilab とは、フランスの INRIA（フランス国立自動制御研究所）が開発した高度な機能を持つ数値計算ソフトウェア・パッケージであり、現在は Scilab Consortium からオープンソースとして提供されています。信号処理や制御、シミュレーションなどの処理を行うのに適しています。



コンテスト風景



Claude Gomez 教授



受賞者の集合写真

本コンテストは、INRIA からの寄付金により、2005 年度から実施運営されており、Scilab Toolbox の作成を通して、日本の学生の Scilab の利用を促進することを目的としています。本コ

ンテストで、最優秀賞に選ばれると、INRIA へ2ヶ月間研修生として招待される特典が付きます。
毎年行われる本コンテストのため、INRIA より Claude Gomez 教授が審査委員の一人として来日されています。

本年度は、4名の応募があり各々のプレゼンテーションを経て、審査の後、優秀賞2名が選ばれ表彰されました。夜には、審査委員の方々と応募者が参加して懇親会が開かれ、和やかな雰囲気のもと歓談が行われ、本コンテストを終了しました。

国立情報学研究所 Scilab Toolbox Contest JAPAN に関する HP

<http://www.nii.ac.jp/scilab/index-j.shtml>

Scilab Toolbox に関する HP <http://www.scilab.org/>

【文責：国立情報学研究所企画推進本部】

「中学生が葉山キャンパスで職業体験」

葉山キャンパスにおいて、11月13日（木）・14日（金）の二日間にわたり、近隣の中学生が職業体験を行いました。



すばる望遠鏡の担当者とのTV会議



科学セミナーの企画の打ち合わせ

職業体験は、中学校での「総合学習」の一環で実施されているもので、今回は横須賀市立の大楠中学校から2名の生徒が参加しました。当日、緊張した面持ちでやってきた生徒達は、学内施設点検の立ち会いやテレビ電話システムを使ったハワイすばる望遠鏡の担当者との通信会議システムの実習を体験しました。また、来年度の中高生向け科学セミナーの企画に関する打ち合わせを行いました。職員から今年度の実施状況を説明し、中高生が参加してみたいのどのような企画か、ポスターやパンフレットへの必要な情報、適切な広報手段といった点について積極的な意見交換を行い、本学としても大変貴重な意見を徴する機会となりました。

また、本学教員によるプレ講義や研究室の見学なども行ない、最後に高畑学長から修了証書を渡されました。

昼休みには、本学の職員食堂で職員とともに食事をしたりと、中学生にとって日常生活では学べない貴重な体験をした二日間となったようです。

【文責：総務課広報係】

【各種募集】・・・現在公募中の情報を掲載しています。

事 項	応募期間	提 出 先
総研大レクチャー 「プレゼンテーションセミナー」参加者募集 http://www.soken.ac.jp/news_all/0623.html	12月18日 (木)	葉山キャンパス 学務課教務係
平成20年度(第14回)総合研究大学院大学長倉研究 奨励賞募集	12月19日 (金)	各専攻担当事務
第3回日文研出版翻訳プロジェクト http://www.nichibun.ac.jp/number/index.html	平成21年3 月末	国際日本文化研究センター

【イベント情報】・・・オープンキャンパス, 入試説明会, 入試など大学行事に関わるもの。

12月

日程	時間	行事名	場所
1日(月) -2日(火)		総研大合同フォーラム	葉山キャンパス
1日(月) -4日(木)		高エネルギー加速器科学研究科 博士後期課程、及び複合科学研究科; 2009年4月(第2回)入学試験 出願 資格認定審査 書類提出期間	葉山キャンパス
5日(金) -11日(木)		文化科学研究科、物理科学研究科 博士後期課程、生命科学研究科生理 科学専攻; 2009年4月(第2回)入学 試験 出願期間	葉山キャンパス
8日(月) -11日(木)		生命科学研究科 遺伝学専攻、及び 基礎生物学専攻; 2009年4月(第2 回)入学試験 出願資格認定審査 書 類提出期間	葉山キャンパス
9日(火) -12日(金)		総研大アジア冬の学校「時空スケール の異なる階層における分子科学」 http://www.ims.ac.jp/aws08/index.html	機能分子科学専攻 構造分子科学専攻
12日(金) -14日(日)		総研大文科学術フォーラム	コンベンションホールAP大阪(12日) 梅田センタービル(13・14日)
12日(金) -18日(木)		複合科学研究科; 2009年4月 (第2回)入学試験 出願期間	葉山キャンパス

平成 21 年 1 月

日程	時間	行事名	場所
6 日(火) -9 日(金)		高エネルギー加速器科学研究科 博士後期課程、及び生命科学研究所 遺伝学専攻・基礎生物学専攻； 2009 年 4 月(第 2 回)入学試験 出願期間	葉山キャンパス
8 日(木) -9 日(金)		先導科学研究科生命共生体進化学専攻； オープンキャンパス	葉山キャンパス
http://www.soken.ac.jp/news_all/0634.html			
13 日(火) -16 日(金)		先導科学研究科 生命共生体進化学専攻； 2009 年 4 月(第 2 回)入学試験 出願資格認定審査 書類提出期間	葉山キャンパス
16 日(金) 又は 23 日(金)		総研大レクチャー 「科学映像の制作理論と制作」	葉山キャンパス
http://www.soken.ac.jp/news_all/0533.html			
19 日(月) -22 日(木)		統計科学専攻； 第 2 回 入学試験	統計数理研究所
http://www.ism.ac.jp/senkou/5years.html#2			
19 日(月) -2 月 6 日(金)		極域科学専攻； 博士後期課程 第 2 回 入学試験	国立極地研究所
http://www.nipr.ac.jp/soken/examination02.html			
23 日(金) -29 日(木)		先導科学研究科 生命共生体進化学専攻； 2009 年 4 月(第 2 回)入学試験 出願期間	葉山キャンパス
24 日(土)	13:00-17:40	高等研プロジェクト シンポジウム 「子供の好奇心は教育を超える」	国際文化会館 岩崎ホール (葉山高等研究センター) 共催：日本子ども学会
27 日(火) -29 日(木)		生理科学専攻； 第 2 回 入学試験	生理学研究所
28 日(水) -2 月 5 日(木)		高エネルギー加速器科学研究科； 博士後期課程(第2回) 入学試験	高エネルギー加速器研究機構 (つくば)
http://www.kek.jp/sokendai/acc/admission.html			
29 日(木)		核融合科学専攻； 第 2 回 入学試験	核融合科学研究所
30 日(金)		天文科学専攻； 第 2 回 入学試験	国立天文台三鷹キャンパス
30 日(金)		宇宙科学専攻； 第 2 回 入学試験	宇宙航空研究開発機構 相模原キャンパス
http://www.isas.jaxa.jp/soukendai/examination/h20_3.html			

2月

日程	時間	行事名	場所
2日(月) -3日(火)		日本歴史研究専攻; 入学試験	国立歴史民俗博物館
2日(月) -3日(火)		構造分子科学専攻・機能分子科学専攻; 博士後期課程 第2回 入学試験	分子科学研究所
3日(火) -4日(水)		情報学専攻; 第2回 入学試験	国立情報学研究所
http://www.nii.ac.jp/graduate/applications/index1.html#4			
3日(火) -4日(水)		国際日本研究専攻; 入学試験	国際日本文化研究センター
3日(火) -5日(木)		遺伝学専攻; 第2回 入学試験	国立遺伝学研究所
http://www.nig.ac.jp/jimu/soken/graduate_program/annai54_n.html			
4日(水) -5日(木)		日本文学研究専攻 入学試験	国文学研究資料館
http://www.nijl.ac.jp/~kyodo/soken.files/siken/index.html			
4日(水) -6日(金)		基礎生物学専攻; 第2回 入学試験	基礎生物学研究所
5日(木) -6日(金)		地域文化化学専攻、比較文化化学専攻; 入学試験	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/education/university/guide/			
23日(月)		日本文学研究専攻; 合格者発表	葉山キャンパス、及び 国文学研究資料館
http://www.nijl.ac.jp/~kyodo/soken.files/siken/index.html			
24日(火) -25日(水)		共生体進化学専攻; 第2回 入学試験	葉山キャンパス

<基盤機関の行事>

12月

日程	時間	行事名	場所
3月31日(火) まで		企画展「インド刺繍布のきらめき-バシ ン・コレクションに見る手仕事の世界」	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/indo/			
1日(月) -1月25日(日)		パネル巡回展「月のふしぎ」	郡山市ふれあい科学館
http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml			
2日(火) -3日(水)		統計数理研究所公開講座「薬剤疫 学入門」	統計数理研究所
http://www.ism.ac.jp/lectures/20m.html			

2日(火) -5日(金)		第31回極域気水圏シンポジウム 極域気水圏・生物圏合同シンポジウム 2008	国立極地研究所
	http://www.nipr.ac.jp/~pmg/jp/		
4日(木) -5日(金)		宇宙航行の力学シンポジウム	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部
	http://www.isas.jaxa.jp/j/researchers/symp/2008/1204_kouko.shtml		
6日(土)	10:30-11:20	常設展示ギャラリートーク	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/regular/gallerytalk.html		
7日(日)まで	9:30-16:30	ミニ企画展示「もの」からみる近世 「紀州徳川家伝来の楽器ー笙ー」	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/p081007.html		
8日(月)		第29回宇宙ステーション利用計画ワ ークショップ	学術総合センターー橋記念講堂
	http://www.jsforum.or.jp/sympo/kibows/jp/index.html		
9日(火) -12日(金)		第18回国際土岐コンファレンス	セラトピア土岐 (土岐市産業文化振興センター)
	http://itc18.nifs.ac.jp/		
10日(水)		統計数理セミナー「Asymptotically distribution free tests for diffusion process: some applications based on simulated」	統計数理研究所
	http://www.ism.ac.jp/meetings/ism-seminar-2008.html		
10日(水)	14:00-16:00	第219回 日文研フォーラム 洋楽ジャンルの適応と変遷: 童謡、ヒップホップとレゲエの事例研究	ハートピア京都 3階 大会議室
	http://www.nichibun.ac.jp/event/forum.html		
12日(金)		第24回 宇宙構造・材料シンポジウム	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部
	http://www.isas.jaxa.jp/j/researchers/symp/2008/1212_kozo.shtml		
14日(日)		第5回中高生南極北極オープンフォ ーラム「中学生・高校生の提案を南 極・北極へ」優秀提案発表会、表彰 式	主催:国立極地研究所 他
	http://polaris.nipr.ac.jp/~ipy/openf08/		
14日(日)まで		パネル巡回展「太陽のふしぎ」	綾部市天文館パオ
	http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml		
17日(水)		統計数理セミナー「代数幾何的符号の 復号に現れる多項式の素因数分解」	統計数理研究所
	http://www.ism.ac.jp/meetings/ism-seminar-2008.html		

18日(木)		統計数理研究所公開講座「進化型計算の統計的理解と応用」	統計数理研究所
http://www.ism.ac.jp/lectures/20n.html			
18日(木) -19日(金)		第30回 太陽系科学シンポジウム	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部
http://www.isas.jaxa.jp/j/researchers/symp/2008/1218_sun.shtml			
19日(金)まで		試みの絵巻展	国文学研究資料館
20日(土)	10:30-11:20	常設展示ギャラリートーク	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/regular/gallerytalk.html			
24日(水)		統計数理セミナー「神経細胞の通信路容量に関する理論的考察」	統計数理研究所
http://www.ism.ac.jp/meetings/ism-seminar-2008.html			
25日(木)まで		パネル巡回展 「日本の宇宙科学の歴史」	釧路市こども遊学館
http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml			

平成21年1月

日程	時間	行事名	場所
6日(火) -7日(水)		第9回 宇宙科学シンポジウム	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部
http://www.isas.jaxa.jp/j/researchers/symp/sss9/index.shtml			
14日(水) -15日(木)		第25回 宇宙利用シンポジウム	(共催)宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部
http://www.isas.jaxa.jp/j/researchers/symp/surc25/index.shtml			
18日(日)		宇宙学校・きょうとく宇宙に夢中>	京都市青少年科学センター
http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/2009/0118_kyoto.shtml			
19日(月)	18:30-19:45	平成20年度市民講座 言語情報とコンピュータ「人間の文法とコンピュータの文法とは何が違うのか？」	国立情報学研究所
http://www.nii.ac.jp/shimin/index-j.shtml			
24日(土)	13:00-17:40	高等研プロジェクト シンポジウム 「子どもの好奇心は教育を超える」	国際文化会館(東京都港区) 岩崎ホール
31日(土)	10:30-11:20	常設展示ギャラリートーク	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/regular/gallerytalk.html			

2月

日程	時間	行事名	場所
7日(土)	10:30-11:20	常設展示ギャラリートーク	国立歴史民俗博物館
18日(水)	18:30-19:45	平成20年度市民講座 文化情報とコンピュータ「文化遺産を 未来に継承するデジタル化の技術と は？」	国立情報学研究所
21日(土)	10:30-11:20	常設展示ギャラリートーク	国立歴史民俗博物館
23日(月)		統計数理研究所公開講座「マルコフ 連鎖モンテカルロ法の基礎と実践」	統計数理研究所
28日(土)		宇宙学校・とうきょう	東京大学教養学部 11号館 1106教室

<教員のメディア出演情報>

先導科学研究科

生命共生体進化学専攻

○ 長谷川真理子 教授

TV出演 NHK サイエンス ZERO

「進化研究最前線 ～ダーウィン進化論 150年～」

放送日 12月7日(日) 0:00～0:44 教育(土曜日深夜)

再放送 12月11日(木) 3:15～3:59 衛星第2

12月12日(金) 19:00～19:44 教育

※各専攻でメディアに出演が決まっている場合にはご連絡ください。

【編集後記】

総研大ニューズレター第7号をお届けします。

今月号は国立天文台 家教授の仁科賞受賞のニュースを始め、葉山、各基盤機関のニュースが盛りだくさんです。記事をお寄せいただきありがとうございます。

今年も残すところあと1ヶ月となり、あちこちできれいなクリスマスツリーを見かけるようになりました。忘年会、年賀状、お歳暮、おせち料理などなど年の瀬を感じます。時代の流れが早いのか、それとも年をとったせいなのか1年があつという間に過ぎるように思われます。

うれしかったニュース、悲しかったニュースなど今年もさまざまなことがありました。このニューズレターが総研大の「今」を少しでもみなさまにお伝えすることができればと願っております。

次回第8号は年明け1月の発行となります。本号が今年最後になりますので、少し早いですが、みなさま良いお年をお迎えください。そして、来る2009年が総研大にとって、またみなさまにとっても良い1年であることを願っています。

[総務課]

発行 2008年12月2日

編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2008 SOKENDAI